

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係	事務事業No.	17132
事務事業名	観光総務一般経費			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7 項 1 目 3
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進				
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	~	平成	年 根拠法令・要綱等

事業の概要
 長期にわたるわが国経済の低迷や少子高齢化に伴う若者人口の減少、非正規労働者の増加等に伴う消費環境の変化、さらには、平成23年3月11日の東日本大震災の影響などにより、市の観光を取り巻く環境は依然厳しい状況にある。一方で、訪日外国人旅行者の増加や平成27年3月に予定される北陸新幹線の金沢延伸などにより、さらなる観光振興の可能性が広がってきている。これらの状況に対応し、市における観光振興の基本的方向を定め、観光振興施策を総合的に展開していくための計画の策定等を行う。

事業の目的
 社会状況の変化に対応した観光振興施策を展開し観光立市を実現するための取り組みを行う。
 観光審議会を開催するとともに、温泉地や自然保護、国立公園、山岳観光等の関係機関・団体等と緊密な連携を確保し、その効果的かつ総合的な施策の推進を図る。
 今年度から仁科神明宮から山岳博物館、鷹狩山、霊松寺、八坂・美麻地域を含む東山地域について、総合的な整備計画の策定に着手する。

事業内容
 観光審議会の開催、各種団体と連携し事業を展開する。
 H25年度 大町市観光振興計画
 H26年度 大町市観光振興計画、大町市東山観光整備計画

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	8,483 千円	8,373 千円	8,676 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	8,483 千円	8,373 千円	8,676 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	観光審議会の開催	回	1	0	6	5	120.0%	5
②								
③								

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	観光施策の策定	本	0	0	0	1	0%	1
②								
③								

2. 数値で表せない効果
 (指標)

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	低い	高い	一部重複	普通	改善の余地あり
点数	3	1	3	2	2	2
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	現状継続	現在、観光審議会では観光振興計画策定や観光の振興に関する重要事項について調査・検証・審議を行っている。 観光は、観光関係者だけでなく他の事業者とも密接な関わり合いがあるため、観光施策を策定する上で他の計画と整合性を図りながら計画策定を行う必要がある。			
	評価点合計	13	18			

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係	事務事業No.	17133
事務事業名	観光施設管理事業			会計	一般会計
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	項
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進				
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画		頁
事業期間	平成	年	~	平成	年
根拠法令・要綱等					

事業の概要
観光客が安全・安心して利用できる観光施設の適切な維持管理と老朽化した施設の改築、改修を行う。

事業の目的
観光施設の適正な維持管理のために、施設改修・更新を計画的に実施する。
大町市アミューズメントハウス及び大町温泉郷森林劇場については、指定管理者制度を導入して経費の節減を図ると共に、民間による創意工夫に基づいた利用者の拡大に努める。

事業内容
観光施設及び温泉管の維持管理、新設、修繕等
指定管理：大町市アミューズメントハウス、大町温泉郷森林劇場
H25年度 木崎湖キャンプ場公衆トイレ改築、塩の道観光案内看板（海ノ口駅）、鷹狩山観光案内看板ほか
H26年度 扇沢市営第2駐車場、若一王子神社公衆トイレ改築、塩の道観光案内看板（中綱神社）ほか

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	59,093 千円	108,229 千円	118,862 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	59,093 千円	108,229 千円	118,862 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	管理施設	箇所	8	8	8	8	100.0%	8
②								
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	修繕施設	箇所	23	20	13	20	65.0%	20
②	新設工事	箇所	1	4	4	3	133.3%	3
③								

2. 数値で表せない効果
(指標)

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	評価	高い	普通	普通	一部重複	普通
点数	3	2	2	2	2	3
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）				
	今後の方向性	現状継続 観光施設の計画的な改修を行い、財源については補助事業や有利な起債等の活用に努める。 当市は、H25年度に県の「山岳高原を活かした世界水準の滞在型観光地づくり」のモデル地域として指定された。この事業に積極的に取り組み、補助金を活用して観光施設の整備を行う。				
	評価点合計	14 / 18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	庶務管理係	事務事業No.	17134		
事務事業名	登山道改修補助事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7	項	1
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	年	~	平成	年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 山岳文化都市として、貴重な山岳環境を保全し次世代に引き継いでいくため、また、全国から訪れる登山者を迎え入れていくため安全な登山活動ができるように登山道の維持管理を行う。

事業の目的
 山岳関係者と協議し登山道の重点整備箇所を選定し整備・改修を行う。
 また、山小屋関係者と登山道等の維持管理について協議を行い、安全で良好な登山道の維持管理に努める。

事業内容
 H22年度整備箇所 濁り沢~ブナ立尾根、吊橋修繕
 H23年度整備箇所 針ノ木岳登山道、三俣蓮華岳付近登山道
 H24年度整備箇所 餓鬼岳登山道、船窪乗越周辺、爺ヶ岳・鹿島槍ヶ岳周辺登山道
 H25年度整備箇所 竹村新道周辺登山道
 H26年度整備箇所 針ノ木岳登山道

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	1,299 千円	2,219 千円	1,225 千円
	国庫支出金	千円	千円	千円	
	県支出金	千円	千円	千円	
	起債	千円	千円	千円	
	その他財源	千円	千円	千円	
	一般財源	1,299 千円	2,219 千円	1,225 千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	登山道改修要望	箇所	2	3	1	2	50.0%	2
②								
③								

成果指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	登山道整備箇所	箇所	2	3	3	1	300.0%	2
②	登山者数	人	78,600	86,000	87,300	88,000	99.2%	88,000
③								
2. 数値で表せない効果 (指標)								

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性	
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
評価	高い	低い	普通	重複なし	普通	改善の余地あり
点数	3	1	2	3	2	2
評価	方向性					
	今後の方向性	現状継続 近年、登山に訪れる観光客が増加し、客層も若者男女と幅が広いため、登山者の安全を考慮した整備が望まれている。 現在は、補助金により登山道等の整備を実施しているが、登山道の権原や整備方法、実施時期等について検討する必要がある。				
	評価点合計					
	13	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	観光振興係	事務事業No.	17141		
事務事業名	観光誘客宣伝事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7	項	1目4
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	年	~	平成	年	根拠法令・要綱等	

事業の概要
 観光客の増大等の観光振興を図るため、市観光協会を中心に誘客宣伝事業を展開する。観光客の多様なニーズに対応するため、目的に応じたパンフレットを作成するとともに、テレビやラジオ、旅行雑誌、新聞、ホームページなどを通じて観光情報を発信する。また、周辺自治体や関係団体等と連携し、広域的な観光客の受け入れを図り滞在型周遊型の観光を推進する。

事業の目的
 本市の魅力ある観光資源の情報を積極的に国内外に発信するとともに、観光キャンペーンを行い滞在型周遊型の観光誘客に取り組む。観光消費額の増大による地域振興と活性化を目指し、観光客の受け入れ体制を強化するとともに、観光案内の充実や観光ガイド人材の育成、広域観光拠点をつなぐ2次交通の整備など、広域観光の推進に取り組む。

事業内容
 観光案内や宣伝等の充実のための市観光協会への支援、観光団体と連携した観光キャンペーンの展開、2次交通の整備による受入体制の強化、パンフレット等の印刷物やテレビ・ラジオなどのマルチメディアを通じた観光情報の発信、達人検定の開催、観光大使との連携、周辺自治体等と連携した広域観光の推進、県と連携したインバウンド事業や学習旅行誘致の推進等を行う。

事業費	財源内訳	年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
		総事業費（決算額）	81,159千円	88,546千円	88,679千円
	国庫支出金				
	県支出金	26,233千円	29,214千円	14,258千円	
	起債				
	その他財源				
	一般財源	54,926千円	59,332千円	74,421千円	

活動指標	指標名	単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
			実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
①	市観光協会HPアクセス	件	212,071	265,789	309,027	300,000	103.0%	300,000
②	市観光協会案内（窓口・電話）	件	19,391	21,176	22,568	23,000	98.1%	23,000
③								

成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
①	観光入込数	千人	2,837	2,900	2,915	3,000	97.2%	3,000
②	観光消費額	億円	119	122	125	130	96.2%	130
③	黒部ダム外国人観光客数	人	53,382	90,168	148,000	100,000	148.0%	100,000
	2. 数値で表せない効果 (指標)							

【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
評価	高い	高い	高い	一部重複	高い	改善の余地あり	
点数	3	3	3	2	3	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	拡大	観光は、当市の基幹産業の一つであり他産業の振興や雇用など地域経済への波及効果は大きい。ため、継続して誘客宣伝に取り組む必要がある。また、市観光協会が主体となって観光イベントや誘客キャンペーン、情報発信などを行っているが、今後も継続して連携と支援をするとともに、組織全体の見直しと強化を図り、法人化のあり方を検討する。				
	評価点合計	16	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	観光振興担当	係	事務事業No.	17143	
事務事業名	イベント事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	活力あふれる豊かなまち			款	7	項	1
施策目標	時代とニーズに対応した観光の推進						
後期計画掲載頁	54~55	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	年	~	平成	年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	観光関係者・地元住民等との協働によるイベント開催と誘客宣伝及びパブリシティ活用を目的に、各種イベントの開催や運営支援を行う。								
事業の目的	住民参加や地域、観光従事者などと連携した取り組みにより、行政主導のイベントではなく大町市の特色を生かしたイベント事業を実施する。 イベント実行委員会による企画・運営を行うことにより、官民一体となった「協働のまちづくり」が実践されるとともに、「おもてなし」の心の醸成や観光ボランティアの育成を図り、観光客の宣伝誘客に寄与する。								
事業内容	アルペンルートオープンカーニバル、塩の道祭り、針ノ木岳慎太郎祭、若一王子神社夏祭り、木崎湖花火大会、紅葉トレッキングや雪まつり等の開催支援を行う。 また、大町市観光協会等と連携し、新たなイベント開催の検討に取り組む。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		11,115千円		11,068千円		7,098千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
一般財源		11,115千円		11,068千円		7,098千円			
活動指標	指標名		単位	平成23年度 実績値	平成24年度 実績値	平成25年度 実績値	目標値 (H25)	達成率 (%)	次年度目標値 (H26)
	①	イベント実行委員会	回	5	5	5	5	100.0%	5
	②	各種イベント	回	2	3	3	3	100.0%	3
	③								
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①	オープンカーニバル	人	132	294	412	310	132.9%	310
	②	塩の道まつり	人	643	817	809	900	89.9%	900
	③	トレッキングイベント	人	331	245	275	340	80.9%	340
2. 数値で表せない効果		(指標)							
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

項目	必要性		有効性		効率性		
	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化	
	評価	普通	普通	高い	重複なし	高い	改善の余地あり
点数	2	2	3	3	3	2	
評価	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	今後の方向性	拡大	立山黒部アルペンルート全線同日開通によりオープンカーニバルの内容について、見直しを図る必要がある。 特に入込数が減少する冬期の誘客強化を図るため、新たなイベント等について検討を行う。				
	評価点合計	15	18				

事務事業評価表

担当課	産業観光部	観光課	国営公園振興担当係	事務事業No.	17144		
事務事業名	国営公園振興事業			会計	一般会計		
まちのテーマ	快適な生活基盤のあるまち			款	7	項	1
施 策 目 標	自然環境と調和した国営公園の整備促進						
後期計画掲載頁	97	頁	個別計画				頁
事業期間	平成	年	～	平成	年	根拠法令・要綱等	

事業の概要	国営公園を地域振興の中核として活用するため、行政機関、経済団体、観光事業者などが一体となって協力し合い、国営公園を生かした地域振興を図るために事業の支援を行う。								
事業の目的	国営公園を生かした地域振興を図るために事業の支援を行うことで、国営公園の来場者の増加に繋げる。								
事業内容	国営公園を生かした地域振興策に関する情報収集と調査・研究及び観光・商業その他分野の情報を集約する。地域の特性を生かし、国営公園と共同した観光戦略の研究開発・情報発信、国営公園事業への支援を行う。								
事業費	年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
	総事業費（決算額）		千円		422千円		218千円		
	財源内訳	国庫支出金		千円		千円		千円	
		県支出金		千円		千円		千円	
		起債		千円		千円		千円	
		その他財源		千円		千円		千円	
		一般財源		千円		422千円		218千円	
活動指標	指標名		単位	平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値
				実績値	実績値	実績値	(H25)	(%)	(H26)
	①	地域振興会議	回		3	3	3	100.0%	3
	②	連絡協議会	回		1	1	1	100.0%	1
成果指標	1. 数値で表せる指標		平成23年度	平成24年度	平成25年度	目標値	達成率	次年度目標値	
	指標名		単位	実績値	実績値	実績値	H25	(%)	(H26)
	①	入園者数	人	173,200	173,300	130,700	175,000	74.7%	175,000
	②								
	③								
	2. 数値で表せない効果		(指標)						
【備考】（事業開始時からの状況変化や改善点、指標・目標値が設定できない場合の理由）									

評価	項目	必要性		有効性		効率性	
	評価	事業の必要性	市民ニーズ	上位施策への貢献度	他事業との重複	事業の効率性	実施主体の適正化
	点数	高い	普通	普通	重複なし	低い	改善の余地あり
		3	2	2	3	1	2
今後の方向性	方向性	担当部課等のコメント（事業改善案等）					
	現状継続						
	評価点合計	3年毎に国営公園管理者が代わり、その度、方針が変わる場合があり、苦慮している。入込数が減少傾向にあるため、歯止めをかけるための取り組みが必要。					
	13	18					